

「受け継がれたまちの息づかい」がちょうどいい



人が育んだ自然、歴史、文化。  
その全てがまちの息づかいとなって聞こえてくる。  
私たちがいる場所は、昔も今も、そしてこれからも大切な場所。  
悠久の時の中で生かされていることを知る。

興津坐漁荘

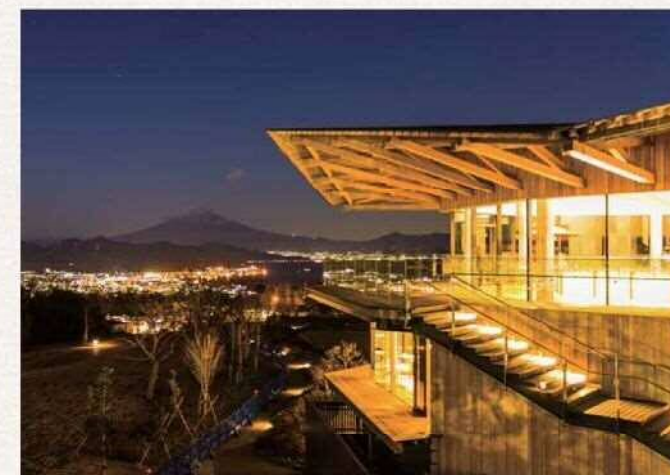


日常の中にある  
特別な光景 みほのまつばら 三保松原

世界文化遺産の構成資産である三保松原は、富士山がよく見える冬の散策がおすすめ。羽衣伝説で知られる羽衣の松、松原を抜けた後の海の青と空の青、波の音に潮の香り、日常の中に特別な光景がある。

四季折々の絶景 日本平

静岡市全景や駿河湾、富士山を一度に味わえる美しい景観が広がる。日本夜景遺産にも認定されたオレンジ色に煌めく清水港や、季節や時間とともに移り変わる景色を楽しめる。



江戸情緒と  
心に残る出会い  
東海道

清水には江尻・興津・由比・蒲原の4つの宿場町がある。その中でも由比、蒲原は、今もなお大名行列や多くの旅人が往来したまちの面影を色濃く残す。由比、蒲原の魅力は、風情ある建物だけではない。まちに愛着を持つ人々との心に残る出会いにまた訪れたいくなる。



恵みを与え続ける  
清流 興津川

夏休みの川遊びスポット。川の透明度は高く、太陽の光が川底まで届くほど。大人たちはバーベキューやキャンプ、鮎釣りをし、子どもたちは夢中で生き物を探す。身近に感じられる自然の恵みは、次世代へと残していきたい宝物。



静岡市「清流30選」  
撮影者：望月正博  
撮影場所：興津川(立花)

